

# 避難計画策定の取組み事例集 (第2版)

令和3年5月改定

内閣府（防災担当）

# 事例集のねらい

- 平成27年の活動火山対策特別措置法の改正を受けて、平成28年「噴火時等の具体的で実践的な避難計画策定の手引き」（以下、「手引き」という。）を改訂しました。
- 各火山地域においては、火山単位の統一的な避難計画策定の取組みが進められており、内閣府では、これを支援するため、平成28年度より、火山防災協議会を構成する地方公共団体との避難計画の協働検討の取組みを実施してきました。
- これらの避難計画策定の取組みの中で、
  - ・避難計画の検討における、必要な基礎データの整理、ハザードマップを踏まえた対象地区ごとの安全な避難方法の検討の具体的な進め方がわからない。
  - ・検討した結果の避難計画へのまとめ方がわからない。といった計画策定を進める上での課題が挙げられました。
- これらの課題を踏まえ、改定した「手引き」（第2版）に基づき避難計画を策定する、または見直す際の検討の参考となるよう、具体的な検討手順、検討結果の避難計画へのまとめ方、検討のポイントを、これまでの火山防災協議会を構成する地方公共団体との避難計画の協働検討の取組み事例等を用いて紹介します。

# 事例集の使い方

## 噴火時等の具体的で実践的な避難計画策定の手引き（第2版）

各火山ごとに設置される火山防災協議会において避難計画を作成する際の参考として、避難計画に定めるべき項目ごとに、重要となる事項やポイントとなる点、火山または火山地域の特性に応じて特に留意すべき点等を解説。

避難計画策定における課題を踏まえて追加作成

＜避難計画策定における課題＞

- ・避難計画の検討における、必要な基礎データの整理、ハザードマップを踏まえた対象地区ごとの安全な避難方法の検討の具体的な進め方がわからない。
- ・検討した結果の避難計画へのまとめ方がわからない。

## 避難計画策定の取組み事例集

「噴火時等の具体的で実践的な避難計画策定の手引き（第2版）」に基づき避難計画を検討する際の、具体的な検討手順、検討結果の避難計画へのまとめ方、検討のポイントを、これまでの協議会を構成する地方公共団体との避難計画の協働検討の取組み事例を用いて紹介。

**「いつ」「どこから誰が」「どこへ」「どうやって」避難するかの、具体的な検討手順を知りたいときは・・・**

### ⇒ 実践的な避難計画策定のための検討手順

避難計画の主要な項目である避難対象地域、避難経路、避難場所等及び避難所等を検討する具体的な手順

噴火警戒レベル2～3での避難

火口周辺地域における具体的な避難計画検討手順

火口周辺地域の登山者・観光客等の避難に関する検討手順

噴火警戒レベル4～5での避難

居住地域における具体的な避難計画検討手順

山麓～居住地域の住民・観光客等の避難に関する検討手順

**避難計画として、具体的にどのようにまとめたらよいか知りたいときは・・・**

### ⇒ 標準的な避難計画の記載事例

「手引き」の【計画策定編】の項目ごとの、各火山地域における具体的な記載事例とそのポイント

**他火山の検討における、課題解決の考え方や検討のポイントを知りたいときは・・・**

### ⇒ 先進的な検討事例

各火山地域における先進的な検討事例